

# 【単元のポイント】

## 分数のたし算・ひき算

5年生 算数 第10単元

### 学習指導要領（平成29年告示）の目標

#### 【A 数と計算】A(4) 分数の計算

異分母の分数の加法及び減法の計算ができること。

### ◆ 評価の3観点における目標

#### 【知識・技能】

- 通分の意味と方法を理解している
- 異分母分数のたし算・ひき算ができる
- 約分の意味と方法を理解している

#### 【思考・判断・表現】

- なぜ通分が必要かを説明できる
- 計算結果を約分する必要性を判断できる

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- 分数の計算に進んで取り組もうとしている
- 日常場面で分数を活用しようとしている

## ◆ 指導上の留意点

### 1. 通分

- 分母が異なる分数を、同じ分母にそろえること
- 分母の最小公倍数を共通の分母にする
- 例： $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{5}{6}$

### 2. 約分

- 分子と分母を同じ数で割って簡単にすること
- 最大公約数で割ると一度で約分できる
- 例： $\frac{6}{8} = \frac{3}{4}$

### 3. 帯分数と仮分数

- 帯分数： $1\frac{2}{3}$  のように整数と真分数の和
- 仮分数： $\frac{5}{3}$  のように分子 $\geq$ 分母の分数
- 計算では仮分数に直すと便利

### 4. つまづきやすいポイント

- 通分せずにそのまま計算してしまう
- 約分を忘れる、または不完全な約分
- 帯分数の整数部分の処理を間違える